

こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A: たいへんよい
B: よい
C: 一部検討を要する
D: 改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で保護者は玄関に出入りできないため、外からでも見やすいように玄関扉にお知らせを貼りだしたり、ホームページ・園だよりにおいて理念・基本方針を明記しています。 ・また、今年度は一年を4期に分けて基本方針である「3つのゼン」の自然・安全・積善のねらいを立てて玄関に張り出すことで保護者にも意識づけられるよう工夫しています。 ・来年度は4期のねらいを見直すとともに、3つのゼンを意識した教育・保育を心掛け、クラス通信にも3つのゼンを織り込んで載せ、さらに保護者へアピールしていきたいと考えています。
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育目標をもとに全体的な計画、指導計画を作成し入園から修了までの発達と学びの連続性を据えて教育・保育が展開されるようにしています。行事の計画については、コロナ禍ということで、これまでの行事のやり方とは全く違ったやり方をその都度考えていく必要がありました。子どもの「やりたい」や興味・関心がある事を取り入れ、子どもたちと一緒に活動の内容を決めて行いました。
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるよう行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの子どもの健康状態は担任間で細かく把握し、朝礼や職員会で全職員が共有できるよう努めています。 ・今年度は5回、外部より講師を招きドキュメンテーションを書きカンファレンスを受けたり、子どもの主体的活動についての講義を聞くことで、保育者は子ども理解に努め子ども主体の教育・保育を意識して活動に取り組もうとしています。しかしまだ普段の教育・保育の中で保育者主体の教育・保育になっていることもあり、引き続きドキュメンテーションをもとにカンファレンスを受けます。 ・さつまいもの苗を植えたが、畑が痩せていて小さなさつまいもしかできず、食べることができなかつた。来年度はいつもの畑は使わず、地域の方に相談して近隣の空いている畑を借りてさつまいもの苗を植えることにしました。食への感謝はもちろん畑を貸してくれた近隣の方への感謝の気持ちも持てるようにしたいと思います。 ・遊びの中に「学び」があることを踏まえ、子どもの興味・関心を尊重し、やりたい遊びを存分にできるように、古新聞や廃材等を豊富に準備しておく・絵の具やテープなどを子どもたちが使いやすいようにするなど環境を整え子どもたちが主体性を発揮できるようにしていきます。
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか			○		